

「市長とじっくりトーク」を11月に開催しました

札幌近郊の大学で学生の就職支援をしている大学の職員8人と市長が、若者の道外への転出を防ぐための取り組みなどについて意見交換をしました。

なぜこのテーマで話し合ったの？

札幌市では、就職などを機に道外に転出する若者が多いことが課題となっています。特に20歳代は、毎年転出者が転入者を2,000人以上も上回る状況です。



市長とじっくりトークとは？

市民の皆さんと市長が、市政に関するテーマについて、率直に意見交換。今後のまちづくりへのアイデアを見つけていく取り組みです。

いただいた意見の一部はこちら！

学生の就職先に対する考え方

「北海道出身の学生は道内に残りたい人が多いが、専門性の高い職種の場合、就職先がないこともある」
「首都圏はスキルアップするためのセミナーなど、勉強する機会に恵まれているため、自分の力に自信のある学生は魅力を感じて出て行きたいと考えるのでは」

転出者が多い状況を改善するための取り組み

「大学までの教育の中で、道内の産業の魅力などを伝えていくことが重要ではないか」
「一度道外で就職した後も、北海道に戻ることを希望する方は多いので、そうした人たちをうまく受け入れられる環境があると良い」



あきもと 秋元市長

市民の皆さんと市長が対話した内容などを紹介します。

【詳細】市民の声を聞く課
☎211-2042

防災コンポイント

いつ起こるか分からない災害に備えて、日頃から知っておいてほしい情報を紹介します。

【詳細】危機管理対策室 ☎211-3062

今回は 暴風雪への備え

雪を伴い強い風が襲ってくる暴風雪。雪で周りが見えなくなり危険なため、暴風雪が予想されているときは外出を控えましょう。やむを得ず車で外出する必要があるときは、次のことにご注意を。

危険を感じたら運転をやめる

道の駅やコンビニなどの安全な場所で天気の回復を待ちます。車が立ち往生し、救助を求める場所が近くにない場合は、警察・消防などに連絡の上、エンジンを止めて待機。やむを得ずエンジンをかけるときは、排気ガスの逆流を防ぐため、車のマフラーの周りを定期的に除雪しましょう。



▲後続車の追突を防ぐため、ハザードランプの点灯なども忘れずに



◀暴風雪で立ち往生する車

車に非常用品を積んでおく

防寒着、カイロ、長靴、手袋、スコップ、けん引用のロープ、飲料水、非常食などを車に積んでおきましょう。燃料が十分に入っているかの確認も大切です。